

令和8年8月

令和 8 年度 9 月補正予算案

補正後予算

5,626 億円

9月補正予算額（一般会計）

75 億円

通常補正等

30 億円

- 物価高騰対策 : 6 億円
- 通常補正 : 9 億円
- 災害復旧 : 15 億円
(R8年6月、7月の大雨被害の復旧関係)

財政的な補正

45 億円

- 決算剰余金の積立て : 33 億円
- 国庫事業の精算等 : 12 億円

物価高騰対策

物価高騰対策 中小事業者支援 第8弾!! NEXT賃金UPプロジェクト

2.8 億円

物価高騰が続くなか、賃上げと投資の好循環をさらに後押し

持続的な賃上げのため、

事業者の声を聞き、制度を見直しながら

企業の生産性向上を継続的に支援



継続的な支援を通じ

賃上げの動き
着実に拡大

10%以上賃上げした事業者
第5弾 事業 24.1%
第6弾 事業 60.1%

事業活用企業の成果

飲食店

サービスを多様化し
売上UP → 時給UP → 応募増
人材不足解消の好循環構築



製造業

設備導入で
外注商品の内製化を実現
原価率を約20%削減



支援事業者数は延べ

1,820事業者

事業者の投資総額は

約43億円

(支援事業者数、投資総額は第6弾までの累計)

前向きな投資
力強く拡大

1件あたりの投資額
第5弾 事業 約170万
第6弾 事業 約200万 賃金UP支援事業実績



そこで

第8弾!!

NEXT賃金UPプロジェクト

拡充

中小企業向け

生産性向上を支援
補助上限 : 400万円
10%以上の賃上げで既存設備
メンテナンスも対象に

賃上げ率で
補助率最大
3/4

制度拡充のポイント

既存設備修繕やメンテナンスへの支援を強化
補助上限額を200万から400万へ引上げ



増額

好調な申請状況を踏まえ、予算増額
従業員がいない事業者にも

生産性向上を支援
補助上限額 : 120万円

補助率
2/3

増額

国の令和8年度事業開始に合わせ予算増額

国の業務改善助成金に上乗せ支援

企業の自己負担分への支援
補助上限額 : 200万円

国+県
補助率
10/10

賃金UP支援チーム

関係機関が結集し、
県・国補助金の紹介、申請事務のサポート
課題解決に向けた支援 などを実施中



増額

さらに、賃上げの原資確保に向け、適切な価格転嫁を一層推進

県内事業者向け

価格転嫁の取組のため、中小企業診断士を派遣し、
原価計算や価格設定、交渉スキル向上等を支援

一方で、資材価格高騰などを背景に、新規投資だけでなく、
既存設備の修繕やメンテナンスのニーズが高まっている

物価高騰対策 農業者への支援

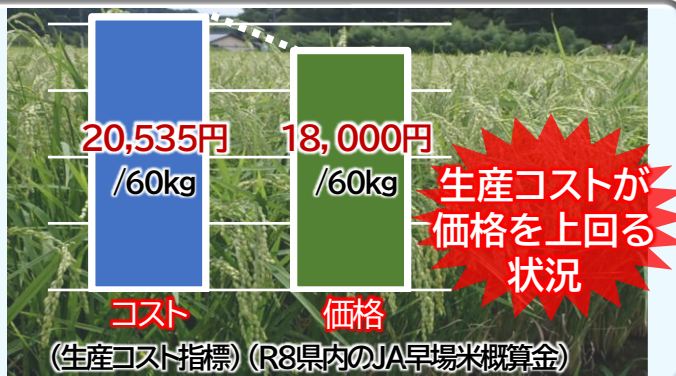
2.5 億円

足元の負担軽減と収益力強化を一体的に支援

水田農家を取り巻く環境

生産コスト増↑

に加え
米余りを背景とした
米価下落↓

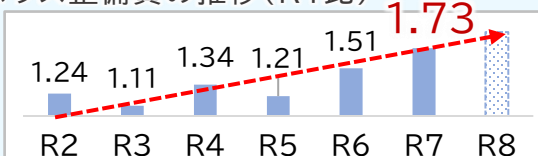


農業用資材、園芸ハウス整備費が高騰

R7からR8における上昇率

- A重油 +20%
- 被覆資材(農ポリ) +16%
- 選果経費(野菜) +17%

ハウス整備費の推移(R1比)

農家の経営を圧迫、特に**初期投資**が大きい**新規就農者**は**負担大**

新規 米麦等生産農家の燃油費を支援

1.3 億円

佐賀県は水田をフル活用
耕地利用率は39年連続日本一水田フル活用 = 乾燥施設の利用頻度が
高く大きな負担乾燥用の**燃油購入費**を支援

補助単価

R2年度の燃油価格との差額の1/2

持続可能な生産のために
足元の負担軽減を図る



新規 施設園芸農家の収益力強化を支援

1.2 億円

1 ハウスリース料の利子負担軽減

➡ 単年度の支払いを下げるためにリースの期間延長を行う
農家に対し、利子増加分の一部を支援

さが園芸888運動
チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ

2 稼ぐ農業実現に向けた伴走支援

➡ 専門人材を活用し、採算分析・技術指導から経営改善計画の策定・実践まで支援

3 共同選果場のコスト低減による利用負担軽減

➡ コンサルによる選果場の効率化をモデル的に支援



通常補正分 主な個別事業

佐賀県立大学（仮称）整備事業

継続費 R8-R11:146.6億円

R8:600万円

これまでの経過

R5.2

「県立大学の基本的な考え方」を公表

R6.1

「基本構想」を策定 専門家チームを設置

R6.9

設計予算を計上

R7.1

山口和範教授を学長予定者に決定

R7.11

基本設計 概要版の公表

R8.4～

教員の公募を開始

開学に向けた取組状況



シンポジウム



協力事業所交流会



プレオープンキャンパス

校舎建設に係る全体予算

継続費

R8年度～R11年度 146.6億円

〈内訳〉 建設工事 144.2億円

工事監理等 2.4億円

校舎配置図



✓ 工事監理等のうち、R8年度は工事前準備事務(※)として600万を措置

※ R9年4月からの工事着工に必要な事務(建築確認申請に係る委託、手数料等)

今後のスケジュール（予定）

R6～8年度 設計(R8年9月完了)

R8年度 工事前準備事務

R9年4月 校舎建設工事 着工(～11年度)

R11年4月 開学

新規 市町立小中学校スポットクーラー応急整備支援事業

1.5 億円

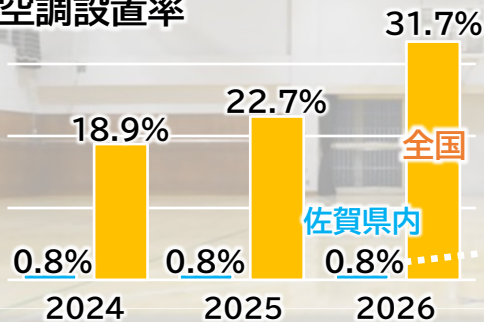
酷暑への対応として、県立学校では今年度

SCHOOL * COOLプロジェクト

県立学校全校の体育館に大型スポットクーラーや空調整備を順次実施

一方で、県内の市町立小中学校体育館等の現状は

空調設置率



空調設置率 0.8%

約9割が避難所指定

大町町の大町ひじり学園(中学部体育館)と
武雄市の武雄中学(武道場)の2棟のみ

災害時の避難所環境

こどもたちの熱中症リスク

令和8年熊本地震でも
避難所となった小中学校体育館の
暑熱対策が大きな課題にこどもたちの学びの場における
熱中症対策が課題

県内市町の空調整備の加速が急務

そこで、**市町**の取組を**加速** させるため県が後押し

緊急的

応急的

県内すべての小中学校体育館・武道場を対象に、
市町が実施する大型スポットクーラー整備を支援

対象
258棟市町が本格空調を
整備するには時間を要する

応急的な対策として、
大型スポットクーラー整備を
県が支援

補助対象 : 機器購入費(1台分)、電源工事費

補助金額 : 市町実質負担額の1/2を補助(上限あり)

こどもたちが
学び育つ環境を改善こどもたちのために
今できる対策を進める災害に備えた
避難所機能の強化危機管理先導県“佐賀”
オペレーションの幅を広げる

新規

九州新幹線西九州ルート 環境アセスに向けた技術検討会検証支援事業

1,100万円

R7.10 国土交通省事務次官との**二者協議**を開始
以降、大きな視点での骨太な議論を**11回**に渡り実施

R8.7.17 九州新幹線西九州ルートの在り方に関する**二者合意** 締結



二者協議に係る合同記者会見

これから

R9年度からの環境アセス実施に向け、
軟弱地盤等の課題について**技術検討会**で**検証**し、議論

R9年度 環境アセスに向けた

技術検討会

※ 国の予算で実施

- ✓ 事前調査の内容(ボーリング調査、地震動調査など)検証
- ✓ 調査結果、技術的課題の検証

国土交通省

幹線鉄道課長
参事官(新幹線建設)

鉄道・運輸機構

新幹線部長
新幹線部 担当課長 等

佐賀県

地域交流部長
有明海沿岸道路整備事務所長 等

県の予算

技術検討会における**検証支援**
・建設コンサル、学識経験者に依頼

県に対し技術的な
助言・サポート

今後のスケジュール

R8年度

R9年度

8

9

10

11

12

1

2

3

4

5

...

本日8/26開催

- 第1回(調査方針確認)

技術検討会 (3者で実施、5回程度開催)
(調査内容の確認、調査報告、課題検証)

事前調査(国土交通省、鉄道・運輸機構で実施)

★国の概算要求(R9アセス分)

環境アセス
(国土交通省、鉄道・運輸機構で実施)
3～5年程度

その他 主なもの

7.5 億円

経済対策(R7国補正)

2.0 億円

新興感染症対策の強化

新興感染症対策に必要な検査機器等を整備する医療機関を支援

1.2 億円（国庫1/2）

介護施設における防災減災対策の推進

断水時における給水機能の維持のための設備整備に取り組む高齢者施設を支援

0.3 億円（国庫2/3）

その他

5.5 億円

軽費老人ホームの運営を支援

軽費老人ホームの安定的運営に取り組む社会福祉法人を支援

2.5 億円（一般財源）

税総合情報システムの改修

税制改正に伴う県のシステム改修

0.8 億円（県債・一般財源）

SAGAスタジアム維持更新等

競技記録の公認を行うために必要なトラックの舗装修繕、パークテラスエリアの防犯カメラ増設

0.4 億円（県債・一般財源）